



# CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 富澤 藤利  
幹事 岩元 義春  
SAA 吉野 文敏  
会報小委員長 浜津 真也

◎例会日 毎週水曜日(12:30～13:30) ◎事務所 いわき市植田町中央一丁目6番地の9  
◎例会場 ホテルミドリ ホテルミドリ内 〒974-8261 TEL.0246-62-3737

人類に奉仕するロータリー

2016～2017年国際ロータリーのテーマ

第 2678 回 例会 平成 29 年 2 月 1 日 (水・晴)

## 会員卓話

生駒 祐健 会員

### ◎会長報告—富澤藤利会長



皆さん、今日は。今日は星行夫会員の岳父について話をしたいと思います。皆様にお知らせ致しました通り、星行夫会員の岳父であります星昭光氏は1月21日に享年87歳で御逝去されました。当クラブから岩元幹事と共に1月29日の通夜に出席して参りました。岳父は皆さんもご存知の通り、いわきが生んだ偉人である星一氏のご一族でございます。皆さんと共に御冥福をお祈りしたいと思います。次に、1月20日から2月3日までは暦の上では大寒でございます。まだ、寒い日が続きますので健康管理には十分注意して下さい。私は呉羽総合病院においてMRIや血液検査、前立腺癌検査等の健康診断を行っています。皆様もそれぞれの医療機関において定期的に健康診断をしていらっしゃると思いますが、何より大事なことは手遅れとならないようにして、健康的な体を維持してロータリークラブ活動を楽しんで欲しいと思います。私からは以上です。

### ◎米山功労者へ感謝状授与

米山功労者第16回メジャーダウンの感謝状が後藤泰治会員へ届いております。富澤会長よりお渡し致しますので前の方へどうぞ。おめでとうございます。



### 君が代

ロータリーの目的 富澤 藤利会長  
—今月は平和と紛争予防/紛争解決月間です—

### ◎星行夫会員より御礼挨拶

先日の葬儀の際に皆様に大変お世話になりました。お蔭様で無事葬儀を行うことが出来ました。本当にありがとうございました。

### ◎幹事報告—岩元義春幹事

・国際ロータリーガバナース事務所より、2016-2017年度職業奉仕委員会セミナーのご案内が届いています。会長幹事に対応したいと思います。  
・猪苗代ロータリークラブより創立50周年記念誌が届いております。  
・ロータリー日本財団確定申告用寄付金額領収証が届いております。  
・わらび座よりミュージカルのご案内が届いております。  
・なごそ授産所より寄付の礼状とグループホーム建設支援のお願いが届いておりますので回覧中です。  
・比佐臣様より礼状が届いております。  
・いわき平中央ロータリークラブ、いわき平ロータリークラブ、北茨城ロータリークラブより週報が届いております。回覧中です。  
・米山記念奨学会より後藤会員へ感謝状が届きお渡し致しました。  
・生駒会員より宴会のお知らせを回覧中です。会費は無料ですがスマイルボックスは用意致しますので宜しくお願いします。  
・関根昭蔵元会員が過日ご逝去されご案内をお送り致しました。謹んでご報告致します。  
・本日例会終了後理事会を開催致しますので宜しくお願いします。



願います。  
・2月のロータリーレートは1ドル116円になっています。  
◎各委員会報告  
◇出席委員会  
—大平伸人副委員長  
本日の出席状況は前頁下記の通りです。



### ◇スマイルボックス委員会—富岡小委員長

・寒暖の激しい折、インフルエンザが猛威を奮っております。皆様体調管理には充分注意しましょう。高萩、富岡、山下、後藤、木幡、高田、鈴木(雅)、関川、鈴木敏広、渡邊(公)、荒川(義)、清水、川口、林、荒川清、大平各会員及び富澤会長、鈴木副会長、佐藤政司会長エレクト、岩元幹事、小熊副幹事  
・1月のゴルフ愛好会で優勝させて頂きました。



誕生祝ありがとうございました。  
渡邊(公)、鈴木(修)、鈴木(雅)各会員  
・本日早退ごめんなさい。 越田和会員  
・前回欠席ごめんなさい。 赤津(善)、星各会員

### ◇親睦活動委員会—高萩小委員長

今月誕生日の会員へ誕生祝いを差し上げたいと思います。名前を呼びますので前の方へどうぞ。渡邊公平会員、本間敏一会員、鈴木修一郎会員、鈴木雅之会員、事務局の金成仁子さんおめでとうございます。



### ◎会員卓話—生駒 祐健 会員

ロータリーは親睦に始まり職業奉仕に目覚め、それぞれが社会奉仕に展開、ついに国際奉仕の花を咲かせたのです。それだけ、社会の共感を得て力が充実してきたものとみるべきでしょう。それを富士の山に例えることが出来ます。甲斐、駿河にまたがる広い裾野、これがクラブ奉仕であり、親睦であり、友愛です。この広い裾野があればこそ富士の高嶺がそびえるのです。さて裾野から少し登った樹林、青木ヶ原のあたりが職業奉仕です。その上に

嶽々としてそびえる岩肌の部分、すなわち2・3合目あたりが社会奉仕にあたり、頂上の白雪をいただいた秀峰が国際奉仕です。国際奉仕はロータリーの花です。しかしそれだけに高嶺の花のきらいもあります。

ロータリーの国際奉仕は、ロータリーの世界的発展の賜物です。志を同じくする人が手をつなぐことによって期せずして国際親善、国際理解が出来るという訳です。こうして世界のロータリアンがその善意を交換し、理解を深める事によって世界平和をうちたてるのがロータリー国際奉仕のねらいなのです。

初期のロータリーには、今日的人道的奉仕活動を主体とした国際奉仕の概念はありませんでした。しかし、第一次大戦中の1917年頃より米国やカナダ、ヨーロッパのロータリークラブが各地の避難民や傷病兵、復員してくる軍人に対するボランティア活動や物資援助を行うなど歴史的背景を受けて、「奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人および地域社会のリーダーの世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進する」という国際奉仕の概念が、1922年に綱領の第6項目として正式に明文化され現在に至っています。(ロータリー章典8.050.1)。

2度にわたる世界大戦を通して世界平和を願うロータリアンは、1945年には米国合衆国務省から要請を受けて、49名が国連憲章の原案作成作業に参加したといわれています。これはロータリーの歴史の中でも特筆すべき国際奉仕活動でしょう。

ロータリーはまず親睦に始まり、世界不況の中に職業奉仕の旗をかざして商業道徳の高揚をめざし、第二次大戦後の好況時代には福祉社会建設のために社会奉仕活動を展開し、今、国際不安の現況を迎えて世界平和のために国際奉仕志向に転じてきました。これこそ環境変化に伴うニーズの変化に即応して進化を続けるロータリーの活力です。

最近、ロータリーの変貌を憂い、墜落として悲しむ向きがあります。それは個人奉仕から集団奉仕に移行して、個人の修練がおろそかにされ、金集めクラブにおちた、という懸念です。しかし、これは環境に伴う一つの変化であって、基本理念がしっかりしていれば憂いに足らない問題です。

国際奉仕、特に世界平和ともなると、個人や単一クラブの取り組みではおおよそ対象です。そしてお金を集める、そのお金はロータリアンが出す以上は、正しい方法で得た浄財で、相手の身になって拠出した資金のはずです。

それがためには一層奉仕の高揚に努めなくてはなりません。2月23日のロータリー創立記念日を「世界理解と平和の日」として強調する理由はここにあります。(『ロータリー入門書』2003から2004年度版著者 前原勝樹より抜粋)

出席状況	正会員数 本日の出席率	56名 77.55%	本日出席会員数	49名
------	----------------	---------------	---------	-----